

F + グループ新人演奏会

*group
joint recital*

1979. 5. 14(月) 6. 30 p.m. 神奈川県民小ホール

主催 フェリス女学院短期大学音楽科同窓会

後援 フェリス女学院短期大学音楽科

異国情緒溢れるこの山手の一角に、小さな家族的雰囲気音楽科が創立されてから、30年近い才月が経ちました。約30年と言う長い年月を経た今では、小さな木造の校舎は立派な鉄筋四階建に変わり、先生方は約70名、生徒は約300名ほどの短大に発展しました。「少しでも立派な音楽家を育てよう。」という情熱に支えられた先生方の献身的な奉仕と、多くの卒業生の協力とによって、困難な道を歩み続けてまいりました。現在の設備の整った環境で勉強していらっしゃる方々には、とても想像のつかないような苦勞がありました。冬の寒いレッスン室のブルーフレームのストーヴで、教えるのに夢中になっていて、洋服の背中や脇を焦がしてしまった事も、今では懐かしい思い出です。

パリ、ウィーン等の、海外で勉強する卒業生も多くなりました現在のしあわせを想いますと、今後さらに、より充実した音楽大学に発展出来るように、努力していきたいと思えます。

この春、研究科を優秀な成績で卒業なさった方達と、音楽科第一回の奨学金を戴き、短大、専攻科を首席で卒業し、その後、山岡優子先生の御力添えにより、パリ国立音楽院に入学、ピアノ科、室内楽科を一等賞で卒業、昨秋帰国した二宮純子さんの賛助出演で、同窓会主催の第三回新人演奏会を、開いていただきました。若い出演者の方達に、暖かい御声援をお願い申し上げます。

二宮さんが、四年間のフランス留学期間中に、ヨーロッパの香りを身につけ、ピアノ以外に、日本にいてはとても出来ないような多角的な音楽の勉強をしてきてくれた事を、とても嬉しく思います。小学生時代から、本当に良く努力し続けてきた彼女ですが、それでも、身につけてきた音楽性を充分に表現出来るようになるのは、容易な事ではないでしょう。どうぞ永い目で、これからの成長ぶりを暖かく見守ってあげて下さいますように。

フェリス女学院短期大学音楽科講師 **塚原 瑛子**

.....
プ ロ グ ラ ム
.....

I ソプラノ 鎌田由美

ピアノ 安藤友侯

恋はいたるところに

「エレンの歌」より

眠れよ かりゅうど, アヴェ・マリア シューベルト

「風に寄せて歌える春の歌」(三木露風詩)

青きふしどをわれ飾る, 君がため織る綾錦,

光にふるい日に舞える, たたえよ しらべよ 山田耕筰

II ピアノ 赤柴容子

ソナタ 変イ長調 作品 110 ベートーヴェン

III 作品発表 和泉粧子

フルート 鈴木康子

ピアノ 中島理恵

即興曲 —フルートとピアノのための—

—————
賛助出演

ピアノ 二宮純子

舟歌 第1番 作品26

夜想曲 第4番 作品36 フォーレ

前奏曲集 第1巻より

アナカプリの丘, 亜麻色の乙女, 沈める寺

映像 第1集

水の反映, ラモー礼讃, 運動 ドビュッシー



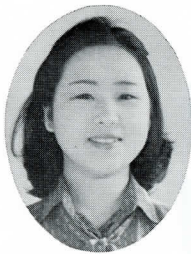
ソプラノ 鎌田由美

湘南白百合学園高等学校卒業
神奈川県新人演奏会に出演
大場岑子、倉長治子の両氏に師事

鎌田さんと御一緒に勉強をはじめてから5年余りの年月が経ちました。ひと言に云って大変真面目な良い生徒です。鎌田さんは自分に備わった聡明さと、清潔さと、勘の良さとを大切にしたら、決して急がない地道な努力をつづけ、一步一步順調に此処まで育ちました。

“最近になって、歌への情感がようやく歌に生きて来た気がする”と過日興奮した面持ちで話しておりました。“熱くなれ”と云う事が通じなかった彼女のこの言葉をどんなに嬉しく思った事でしょう。今日、このステージが与えられた事を心から感謝するとともに、これからの彼女が人間的にも、音楽の上でも、すべてにより大きく成長し、心からの歌を歌えるのを見守ってゆきたいと願っております。

倉長治子

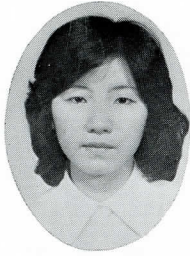


ピアノ 赤柴容子

静岡女子高等学校卒業
読売新人演奏会、神奈川県新人演奏会、神奈川県立音楽堂
推薦音楽会に出演
「第2回静岡県音楽コンクール」ピアノ部門第3位入賞
高原節子、山崎孝、久保浩の各氏に師事
現在 フェリス女学院短大音楽科実習助手

赤柴容子さんは静岡県の出身で、静岡女子高校を卒業の後、一つの意志と信念をもって、フェリスに音楽の道を見出された様です。当初は短大2年間のみという考えだったのですが、専攻科、研究生と進み、そしてこの2年間は特に楽しかったという彼女の言葉が示すように、音楽にもとても余裕が出て来たように感じます。そして、良い意味での若干の「がんこさ」が、ソロに於て、個性的な表現の上で、ある種の役割をはたしていると言えるでしょう。今日、演奏の機会が与えられたことは彼女にとって大変意義のあることで、必ず今後の進歩にも結びついていくことでしょう。ベートーヴェンのこの後期の曲をこなすことは大変なことです。若し彼女がそれなりに感じるものを、のびのびと表現してほしいと思います。人生とは不思議なもので、ある時フッとその人の今迄の生活が変えられてしまうことがあります。その転機が何であれ、これからも「人の心に豊さを導く」音楽の中に生き方を見出してほしいと思います。皆様もどうぞ暖かい目で彼女の成長を見守って頂ければ幸いです。

久保浩



作曲 和泉 粧子

横浜市立東高等学校卒業
 神奈川県新人演奏会に出演
 萩原英彦、松本日之春の両氏に作曲を、又、在学中、ピアノを久保浩氏に師事

今日、和泉さんの作品がFグループの新人演奏会で発表されることは、私の初めての作品が音になった時の緊張と期待の入りまじった、ある種の不安な感情をよびもどしてくれます。和泉さんは、音楽学校、というところで、作曲という作業についておつきあひした最初の方だった、ということよりも、音楽の時間的な構築への考え方を追認された、いってみれば、常に、私の方が教えられてきた、ということなのです。何よりも幸せだったことは、和泉さんは、自分のコスモスを、自らの手で拡張していくことのできる人だった、ということです。ですから、おつきあいの中で、私は、自分の、和泉さんにとっては、あまり意味のなかったかもしれない、勝手な願望をボソボソと述べているだけで、時は過ぎ、和泉さんの作品のうまれるのを見守っているだけだったのです。これからも、和泉さんの世界がひろがっていくことを、心から期待しております。

松本日之春

賛助出演

ピアノ

二宮 純子



1974年 フェリス女学院短大音楽専攻科卒業
 塚原瑛子、園田高弘の両氏に師事
 渡仏、パリ国立音楽院入学

ピアノをレイモン・トゥロワール、マルセル・ウークラン、ジャンヌ・ウルソフ、室内楽をジャック・デュモン、ネリ・バスキエの各氏に師事

1977年 パリ国立音楽院ピアノ科をプルミエ・プリ（1等賞）で卒業

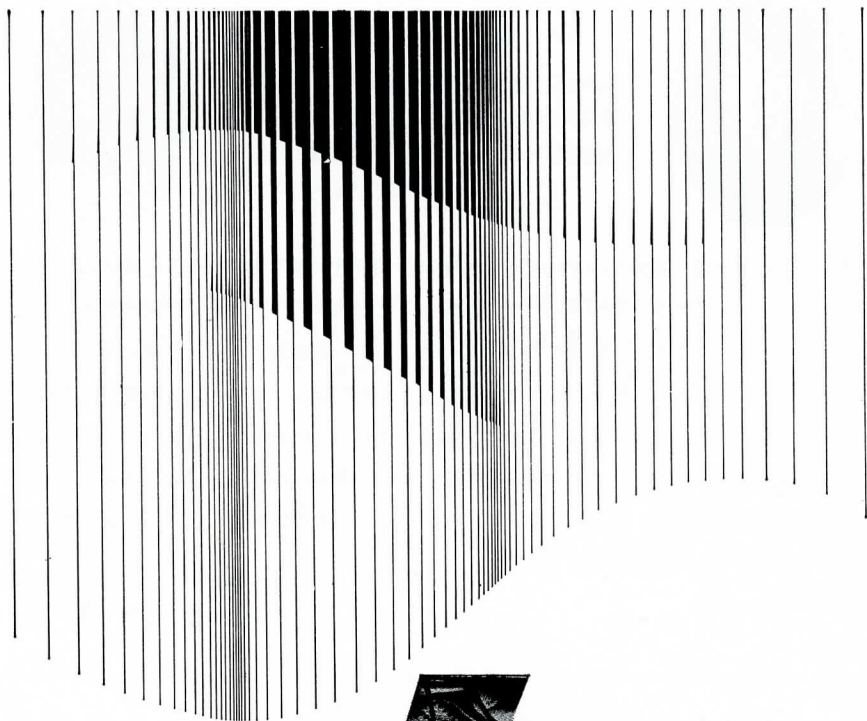
1978年 同校室内楽科をプルミエ・プリ（1等賞）で卒業

フランス、アードゥローにてリサイタルを開催

秋、帰国

1979年 神奈川県立音楽堂推薦音楽会に出演

現在 フェリス女学院短大音楽科講師



YAMAHA

横浜駅西口

日本楽器横浜店

横浜市西区南幸2-15-13

TEL (311) 1201 (大代表)